



富士河口湖町国民健康保険 第3期データヘルス計画及び 第4期特定健康診査等実施計画

計画全体の目的

各種保健事業を通じて、生活習慣病の予防並びに重症化予防等を行い、住民の健康意識の向上を図る。

データヘルス計画

レセプトデータ、特定健康診査の結果等のデータ分析に基づく、効果的・効率的な保健事業の実施内容等を定めた計画

特定健康診査等実施計画

特定健診・特定保健指導を効率的・効果的かつ着実に実施するために、レセプトデータ、特定健康診査の結果等のデータ分析に基づき、国民健康保険の規模や、加入者の年齢構成、地域的条件等の実情を考慮し実施するための計画

※レセプト…医療機関が医療保険者(町)に提出する診療報酬明細書

目的達成のための目標

○特定健診の受診の促しや、健診後のフォローを手厚くすることで、生活習慣病の早期発見や予防に繋げ、生活習慣病の重症化を予防する。

1 特定健診の受診率(※法定報告値)

令和4年度 40.8% 令和11年度 60.0% 以上

2 運動習慣のある者の割合

令和4年度 35.3% 令和11年度 37.0% 以上

3 血圧が保健指導判定値以上の者の割合

令和4年度 51.4% 令和11年度 50.0% 以下

4 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合

令和4年度 25.6% 令和11年度 18.4% 以下

○糖尿病に関する知識を住民に知ってもらい、適切な治療や生活習慣の改善を通して、糖尿病の早期治療や重篤化を防ぎ、糖尿病性腎症による腎機能の悪化を防ぐ。

1 HbA1c6.5%以上の者の割合(高血糖者の割合)

令和4年度 7.8% 令和11年度 7.0% 以下

2 糖尿病性腎症病期分類の悪化率 短期

令和3年度→令和4年度 3.9% 令和10年度→令和11年度 3.4% 以下

3 糖尿病性腎症病期分類の悪化率 中長期

平成31年度→令和4年度 6.2% 令和5年度→令和11年度 11.4% 以下

データで見る富士河口湖町の健康課題

A

●糖尿病・脂質異常症・高血圧の疾病別医療費割合(入院及び外来)が高い。生活習慣病で治療中の人が多く、複数の生活習慣病を併発している人も多い。また、慢性腎臓病(透析あり)・脳血管疾患の医療費割合・被保険者千人当たりレセプト件数も、県・国より多く、人工透析患者は増加している。

●被保険者千人当たりのレセプト件数 (外来：慢性腎臓病(透析あり))(令和4年度)

	町	県	国
40～44歳	0	1,604	1,292
45～49歳	3,744	2,642	2,266
50～54歳	6,826	4,924	3,532
55～59歳	10,989	6,119	4,65
60～64歳	9,273	5,602	4,79
65～69歳	3,957	3,569	2,874
70～74歳	3,329	3,552	2,722
合計	3,905	3,135	2,339

●被保険者千人当たりのレセプト件数 (外来：脳梗塞)(令和4年度)

	町	県	国
40～44歳	4,057	0,351	0,388
45～49歳	0	0,796	0,811
50～54歳	0,201	1,386	1,483
55～59歳	5,902	2,177	2,344
60～64歳	1,976	3,043	3,464
65～69歳	1,978	3,964	5,112
70～74歳	2,45	5,914	7,825
合計	1,711	2,901	3,413

※ 出典：疾病別医療費分析(生活習慣病)※慢性腎臓病(透析あり)は、疾病別医療費分類(細小(82)分類)(令和4年度)

●年度別 透析患者数及び医療費

年度	透析患者数(人)	透析医療費(円)※	患者一人当たりの透析医療費(円)
平成30年度	16	96,044,770	6,002,798
平成31年度	18	104,030,180	5,779,454
令和2年度	25	117,711,990	4,708,480
令和3年度	25	142,955,870	5,718,235
令和4年度	25	132,123,120	5,284,925

●細小分類による医療費上位6疾病(令和4年度)

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%) ※
1	慢性腎臓病(透析あり)	112,245,230	6.3%
2	糖尿病	78,445,740	4.4%
3	関節疾患	75,892,200	4.2%
4	統合失調症	73,214,130	4.1%
5	脂質異常症	50,844,950	2.8%
6	高血圧症	48,407,540	2.7%

※ 出典：国保データベース(KDB)システム「医療費分析(2)大、中、細小分類」(令和4年度)

※ 出典：国保データベース(KDB)システム「医療費分析(1)細小分類」(令和4年度)

B

●特定健診受診者の有所見者割合で、最も有所見割合が高いのはHbA1cで65%、血糖値も33%である。また脂質・尿酸・血圧・腎機能が県と比較が高い。特に前期高齢者になると血糖や腎機能の有所見者の割合がさらに高くなり、高血糖・高血圧・脂質異常が継続した結果、動脈硬化が悪化し、腎機能の低下につながっている。

●検査項目別有所見者の状況(男女合計)(令和4年度)

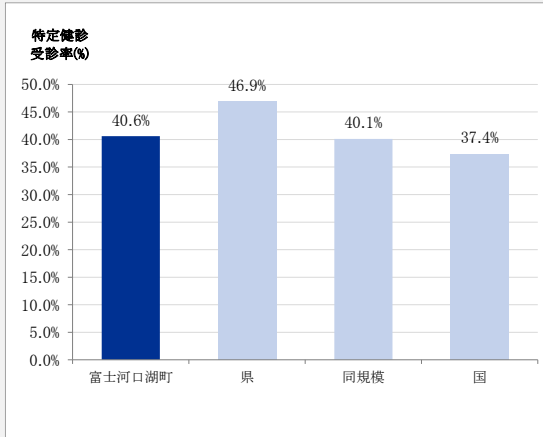
区分		中性脂肪	血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧	心電図	eGFR	
		150以上	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上	所見あり	60未満	
富士河口湖町	40歳～64歳	人数(人)	127	139	316	24	232	143	67
		割合(%)	21.2%	23.2%	52.8%	4.0%	38.7%	23.9%	11.2%
	65歳～74歳	人数(人)	165	372	693	20	521	256	270
		割合(%)	17.5%	39.5%	73.6%	2.1%	55.4%	27.2%	28.7%
	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	292	511	1,009	44	753	399	337
		割合(%)	19.0%	33.2%	65.5%	2.9%	48.9%	25.9%	21.9%
県	割合(%)	17.8%	37.7%	68.0%	2.7%	49.0%	16.1%	19.6%	
国	割合(%)	21.2%	24.7%	58.3%	6.7%	48.2%	21.7%	21.9%	

※ 出典：国保データベース(KDB)システム「健診有所見者状況」(令和4年度)

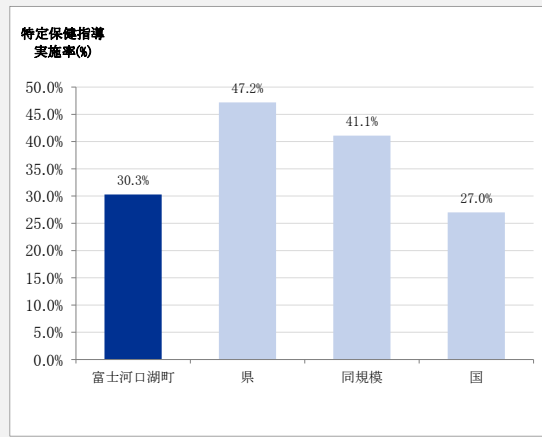
C

● 特定健診受診率・特定保健指導実施率が県と比べ低く、特に40歳代～50歳代男性の健診受診率が低率である。健康状態の把握ができず、年を重ねるにつれて疾病に気づかず、重症化しやすい。

● 令和4年度 特定健診受診率



● 令和4年度 特定保健指導実施率



※ 出典：国保データベース (KDB) システム「地域の全体像の把握」

D

● 不規則な食生活や運動習慣がないなど生活習慣に課題のある人が多く、若い時からの生活習慣による有病者が多い。また生活習慣の改善意欲がない人が多い。観光関連業や飲食業従事者は仕事柄生活リズムを変えることが困難といった背景もあり、生活習慣の改善につながりにくい。

分類	質問項目	40歳～64歳				65歳～74歳			
		富士河口湖町	県	同規模	国	富士河口湖町	県	同規模	国
喫煙	喫煙	19.9%	21.4%	19.7%	18.9%	7.9%	10.5%	10.2%	10.2%
体重増加	20歳時体重から10kg以上増加	36.1%	34.4%	39.3%	37.8%	31.6%	29.0%	34.0%	33.2%
運動	1回30分以上の運動習慣なし	71.5%	76.7%	70.0%	68.7%	60.2%	62.2%	55.6%	55.3%
	1日1時間以上運動なし	46.6%	45.2%	48.8%	49.3%	45.2%	41.9%	46.9%	46.7%
	歩行速度遅い	55.6%	60.5%	55.6%	53.3%	50.8%	55.8%	51.1%	49.5%
食事	食べる速度が速い	37.6%	32.8%	30.3%	30.8%	27.0%	26.8%	24.2%	24.6%
	食べる速度が普通	56.9%	60.0%	62.0%	61.1%	68.7%	65.7%	68.0%	67.6%
	食べる速度が遅い	5.4%	7.3%	7.7%	8.2%	4.3%	7.6%	7.8%	7.8%
	週3回以上就寝前夕食	20.8%	17.8%	20.0%	21.0%	10.2%	8.2%	12.1%	12.1%
	週3回以上朝食を抜く	19.0%	16.8%	17.7%	18.8%	5.5%	4.7%	5.3%	5.8%
飲酒	毎日飲酒	28.6%	22.8%	23.4%	24.3%	21.6%	20.8%	23.7%	24.7%
	時々飲酒	24.2%	24.4%	24.3%	25.2%	18.9%	19.8%	20.4%	21.0%
	飲まない	47.1%	52.9%	52.4%	50.5%	59.5%	59.4%	56.0%	54.3%
	1日飲酒量(1合未満)	56.0%	47.0%	60.8%	61.0%	68.2%	54.7%	67.6%	67.6%
	1日飲酒量(1～2合)	27.6%	29.9%	23.7%	23.0%	24.2%	31.7%	23.5%	23.1%
	1日飲酒量(2～3合)	10.8%	17.3%	11.1%	11.2%	6.6%	11.7%	7.6%	7.8%
睡眠	1日飲酒量(3合以上)	5.5%	5.7%	4.4%	4.8%	1.0%	1.9%	1.4%	1.5%
	睡眠不足	33.7%	41.7%	29.3%	28.4%	29.0%	42.0%	24.2%	23.5%
生活習慣改善意欲	改善意欲なし	30.3%	22.6%	24.1%	23.2%	31.8%	26.3%	29.7%	29.4%
	改善意欲あり	25.3%	21.9%	31.9%	32.8%	18.9%	14.7%	25.6%	25.9%
	改善意欲ありかつ始めている	9.8%	13.5%	16.1%	16.3%	8.4%	9.4%	12.9%	12.9%
	取り組み済み6ヶ月未満	10.3%	8.8%	10.0%	10.0%	9.2%	6.4%	8.4%	8.5%
	取り組み済み6ヶ月以上	24.2%	33.2%	18.0%	17.8%	31.6%	43.2%	23.3%	23.1%
咀嚼	保健指導利用しない	74.4%	82.3%	66.5%	62.6%	66.3%	79.7%	64.6%	63.0%
	咀嚼、何でも	84.6%	86.4%	83.4%	83.8%	75.1%	80.3%	76.0%	77.0%
	咀嚼、かみにくい	15.4%	13.0%	15.9%	15.5%	24.1%	19.1%	23.1%	22.2%
	咀嚼、ほとんどかめない	0.0%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	0.6%	0.9%	0.8%
間食	3食以外間食、毎日	24.6%	24.2%	23.7%	23.7%	19.1%	22.0%	20.6%	20.7%
	3食以外間食、時々	52.5%	54.5%	56.3%	55.4%	62.5%	59.1%	59.3%	58.5%
	3食以外間食、ほとんど摂取しない	22.8%	21.3%	19.9%	20.9%	18.3%	18.9%	20.1%	20.8%

※ 出典：国保データベース (KDB) システム「質問票調査の状況」

課題解決のための保健事業

事業分類1 特定健康診査・特定保健指導

重点 事業番号 1-1	特定健康診査	概要	特定健康診査を受診していない者を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
		対象者	40-74歳の被保険者
		評価指標	2年連続健診を受診している人の割合
事業番号 1-2	特定保健指導	概要	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、生活習慣や検査値が改善されるように、専門職による支援を面接や電話等で継続的に行っていく。
		対象者	特定保健指導基準該当者(国の基準に準ずる)
		評価指標	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

事業分類2 糖尿病対策(糖尿病の発症、重症化予防、糖尿病性腎症重症化予防等)

重点 事業番号 2-1	糖尿病予防対策	概要	医師による糖尿病に関する講義、食事指導、運動指導を行い、希望者に対する個別面談を実施する。保健師、栄養士による生活習慣病予防のための保健指導を実施する。
		対象者	健康診断結果において糖尿病関連値が高く、糖尿病発症の可能性がある者
		評価指標	健康診断結果におけるHbA1cが5.6%以上の割合
重点 事業番号 2-2	糖尿病性腎症重症化予防事業	概要	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、対象者が自らセルフケア能力を高め、望ましい生活習慣を身に付けることができるように専門職より対象者に6ヵ月間の面談指導と電話指導を行う。
		対象者	特定健康診査の検査値とレセプトデータから糖尿病性腎症の病期を特定された者
		評価指標	保健指導実施者の検査値改善率(翌年度の健診等におけるHbA1c7.0%以下の割合)

事業分類3 生活習慣病重症化予防

事業番号 3	要医療者への受診勧奨	概要	特定健康診査受診者のうち「要医療」「要精密検査」の者において、個別の結果説明と受診の勧奨を行う。その後、医療機関への受診が確認できない対象者を特定し、通知や電話、訪問による受診勧奨を行う。結果報告会における受診勧奨や支援が必要な対象者の抽出、個別フォローが早期治療における重症化予防・生活習慣改善を図ることができる。
		対象者	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診者のうち「要医療」「要精密検査」の者 特定健康診査の結果、医療機関への受診勧奨対象者の内、医療機関への受診が確認できていない者
		評価指標	KDBにおける医療機関非受診率